

# 命を守り暮らしを結ぶ 県主要幹線道路網



# 青森県議会 ニューズレター



## 上北自動車道が全線開通

七戸インターチェンジと新設された七戸北インターチェンジとを結ぶ「天間林道路」(8.3キロ)が11月27日に供用開始されました。これで「上北自動車道」全線が開通し、県民の念願だった青森市と八戸市の2大都市が自動車専用道路で結ばれ、所要時間がこれまでの約2時間から1時間半に短縮されました。私は県議に初当選して以来、ずっと道路行政に携わっており、地元の中学生が修学旅行で東京に行った際、当時の冬柴鉄三国土交通大臣に早期開通を要望したことが思い出されます。知事就任以来、本県のミッシングリンク解消に情熱を傾けてこられた三村県知事にとっても念願が叶ったとも言えます。人の移動、物流、観光の観点からも県民にとって明るいニュースとなりました。

2023  
新年号

伊吹 信一プロフィール  
会派 公明・健政会所属  
環境厚生委員会委員  
新幹線・鉄道問題対策特別委員会委員  
議会改革検討委員会委員  
青森県防災士会相談役 防災士  
2級知的財産管理技能士 経営士  
温泉観光士 温泉保養士 温泉入浴指導員  
<http://www.ibukista.com/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

青森県議会議員

# いぶき 信一



## 議会質問より

## 無電柱化の取組について



近年、災害の激甚化・頻発化により電柱が倒れ、道路通行の妨げとなる事例が出ていること等をふまえ、国土交通省では無電柱化を計画的に進めるため「無電柱化推進計画」を策定しています。そのなかで「緊急輸送道路については無電柱化を推進し電柱を減少させる」「徹底したコスト縮減を推進し、限られた予算で無電柱化実施延長を延ばす」「事業の更なるスピードアップを図る」との基本方針が示されています。

青森県でも昨年1月に「青森県無電柱化推進計画」を策定し、国・県・市町村道の25路線45工区、延長約56キロメートルを整備していくこととしています。

防災上、良好な景観形成の観点から定例県議会に追加提案された

無電柱化の補正予算を取上げ、県管理道路の無電柱化の整備状況について質問しました。

幹線道路を中心に令和3年度末までに19路線38工区約20キロメートルの整備が完了し、6路線8工区約14キロメートルにおいて現在整備が進められています。

補正予算では無電柱化に5億7千万円が計上されました。県の答弁では、青森空港へのアクセス道路である主要地方道青森浪岡線荒川柴田工区などで事業を進めることが報告されました。

私は激甚災害を念頭に、計画路線に限らず、計画的に無電柱化を進めていくことを県に要望しました。

## 子宮頸がん予防のためHPVワクチン接種を

日本では毎年約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、30歳代までにがんの治療で1千人が子宮を失うことが知られています。

子宮頸がんの原因とされるヒトパピローマウイルス感染症の予防効果がある、2価・4価HPVワクチン接種の個別勧奨を国が再開したことから、国の通知をふまえた県内市町村の取り組み状況を環境厚生委員会で質問しました。

青森県内の40市町村で接種対象者への予診票等の個別通知を実施しています。県の調査では、昨年9月末で3,604人が接種したことが報告されました。また国の接種勧奨の差し控えにより定期接種の機会を失った、平成9年度生まれから平成17年度生まれの女

子へキャッチアップ接種が現在進められています。県内39市町村で個別通知を行っており、昨年9月末で3,531人がキャッチアップ接種を受けたことが県の答弁で公表されました。

ヒトパピローマウイルスは、男性の尖圭コンジローマの原因でもあります。平川市では全国で唯一、男性の接種を補助事業として進めています。

本年4月1日からはハイリスクな遺伝子型にも有効な9価HPVワクチンの定期接種が始まります。ヒトパピローマウイルスによるがんを発症させないため、HPVワクチン接種について、男女を問わず適確な情報提供に努めるよう県に要望しました。

## 重症心身障害児者のための環境整備を

建設からまもなく40年が経過する県立あすなろ療育福祉センターは、施設の老朽化と利用者の医療ニーズに適切に対応できる体制の整備が課題となっています。

私に利用者のご家族等から相談が寄せられたため、施設を視察したうえで、環境厚生委員会委員で移転新築と医療提供体制整備に向けて検討するよう県に求めました。

県は私への答弁で、施設の老朽化や利用者の状況変化などの課題をふまえて、関係者の意見を聴取しながら、センターの機能強化にむけて検討していく考えを明らかにしました。

検討を進めるにあたって、同じく施設の老朽化などの課題を抱えている、弘前市の「さわらび療育福祉センター」も含めて、内外の関係者を交えて検討していくことも明らかにしました。



## 県管理道路排雪予定を公表

県が管理している道路の排雪作業予定を公表するモデル事業が今冬から実施されます。11月定例県議会でも青森市を対象に実施することを説明しており、排雪作業がおこなわれる予定日と路線名、具体的な区間を事前に県道路課ツイッターやあおもり道情報等で告知し、具体的な内容は県庁ホームページに掲載する予定です。

私がおこなった雪国暮らしについての聞き取り調査のなかで、除排雪情報の提供を求める声が多かったことから、予算特別委員会等を通じて、県に県民への道路情報を提供する制度の導入を求めてきました。雪国暮らしをする県民の安心感に繋げてもらうため、この事業を今後は県内に普及させていこうと考えております。県道路課の公式ツイッターの公式アカウント @aomoriken\_douro を是非とも登録してご利用ください。



### 議員活動

## 青森県私学をそだてる会要望



青森県私学をそだてる会（清野秀美会長）の代表が11月28日に県庁を訪れ、①私立高校に通う生徒の世帯のうち、多子世帯（子ども3人以上）の負担軽減のため「私立高等学校等就学支援費補助制度」を拡充すること、②中・高等学校の耐震化達成率全国最下位の青森県で学校施設の耐震化等、防災機能の強化を促進するため、国に対し耐震改築事業の維持と補助金の拡充を要請するとともに、県として「私立学校耐震化促進事業費補助」を維持・拡充すること、③「私立学校経常費補助」を維持・拡充することの3項目に渡る三村県知事宛の要望書を、2万2746筆の署名を添えて青山祐治県副知事に手交しました。引き続き行われた意見交換会では、各学校の課題について報告がありました。私からは、県出身者が地元で生活していけるよう、総合的な支援を検討するよう要請しました。

## KHJ 全国ひきこもり家族会連合会要望

全国ひきこもり家族会連合会青森県支部の代表の皆様と一緒に11月25日、三村知事宛ての「ひきこもり支援拠点づくりと支援体制の充実を求める要望書」を県に提出しました。要望書は、①官民連携による家族会・当事者会・民間支援団体と共に創るネットワークづくり、②県内市町村における重層的なひきこもり相談支援体制構築に向けた県の支援、市町村などが断らない途絶させない相談支援と専門職員の養成、③訪問支援（ピアサポーターも含む）に民間の人財を積極的活用、④居場所づくりの充実と社会的役割創出のための事業強化、⑤青森県内公立心療内科、精神科外来の充実、などを求める内容です。寄り添い続ける大切さを感じ、続けてきた要望活動であり、居場所を求めている多くのひきこもり当事者や家族の願いを、今年も届けることができました。



## 沖館橋歩行者専用側道橋供用開始



国道 280 号線にかかる沖館橋の横に歩行者専用の側道橋（長さ 26 メートル、幅員 3.5 メートル）が完成、12 月 16 日から供用が始まりました。沖館橋は路線バスも通るなど大変交通量が多い上、上り下りの高低差とカーブがあります。自転車で登り切れずに途中で降りて後ろから来た車にはねられるなどの事故が頻発し、地域住民からは「安心して通勤通学や買い物ができない」と、歩行者専用の橋を求める声が寄せられていました。私は青森市西部第 1 区連合町会からの要請を受け、通行者の安全を確保できるように橋の改修を県に要望し、新規事業化した経緯があるだけに感慨深いものがあります。供用開始に際しては地域の方々と渡り初めに参加し、地域の安全を確保できた喜びを分かち合いました。

## 青森臨港道路 1 号線安全対策改良工事が完了



青森臨港道路 1 号線の青森市新田地内の中央分離帯を約 2 メートル撤去し、住宅地への車両の進入を容易にする一部改良工事が終了しました。

これまで人身事故が度々発生し、地元町会から危険な箇所として対策工事を要望された為、道路を管理している青森港管理所に地元町会長と改修を要望しました。

青森港管理所では青森警察署と現地確認を行うなど、改修に向けた検討手続きを経て、昨年 12 月中旬に改良工事が終了しました。

また令和 3 年度から 2 箇年で進められていた青森臨港道路 1 号線新田交差点からフェリー大橋までの約 200 メートルの区間、住宅地側車線の歩道幅員の拡幅工事も完了しました。既に運用されている新田交差点両側の右折レーン設置、右折信号機設置とあわせて要望箇所の工事が完了したことになります。

住宅地の皆さんからは、「住宅地への出入りが安全安心になった」と喜びの声が寄せられています。これからも安全安心な県都づくりに取組んでいきたいと思えます。

### 地域実績

## 県営住宅柳川改修工事



県営住宅ベイサイド柳川で改修工事が行われています。建設から 26 年が経過し室内外の亀裂や手摺の錆、廊下が滑りやすくて危険など、入居者からの声を踏まえ、県に改善を要望していました。建物の長寿命化を図るため、外壁のクラック処理や塗装、断熱改修、防水改修を実施します。

昨年度は A 棟から始め、今年度 B 棟、令和 6 年度の C 棟まで 3 カ年の計画です。無事故で工事が終わることを祈願しております。



青森県議会 公明・健政会  
県議会議員 伊吹信一

TEL 017-734-9816 / FAX 017-722-6148 / URL <http://www.ibukista.com/>



@ibuki\_shinichi



@hmw5037e



@IBUKISHINICHI

